



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会

(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail katano.vltr94@g mail.com

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 072-894-3737)
(Fax 072-891-3340)

新春を迎え、馬場会長に連絡会活動について抱負を語っていただきました。
▽昨年4月に会長に就任されて9か月、連絡会創立30周年式典をはじめ、7月には市長とのタウンミーティングなど例年にない取り組みなどを通して感じられたことなどをお聞かせください。
▼先ず連絡会創立30周年式典では随分苦勞もありましたが、式典を盛り上げてくれました実行委員の方々に感謝を申し上げます。また各グループ会員相互の結束が図れた意義は大きいと感じています。
▼タウンミーティングでは、ボランティア活動の重要性を市に訴え、理解を頂けたと思っています。今後もボランティアとその活動に関しての



馬場 会長

新春インタビュー

身近なボランティア活動の発信

情報発信を継続して行きたいと考えています。
▽コロナ禍で活動の停滞と変化が起きました。そんな中で連絡会ではホップ・ステップ・ジャンプと3年間の新たな活動スタイルを打ち出され、今年3月で終了します。4月から新たなスタートを迎える訳ですが新年度に向けた課題やお考えなどをお聞かせください。

▼ボランティアを取り巻く環境は高齢化や新たなボランティアの確保が少ない現状で、多くのグループでは活動の継続が大きな課題でもあります。その中で連絡会活動にどのように参画、あるいは協力をいただけるのか、そして連絡会として各グループの皆さんにどのようなサポートができるのか、4月から始まる新年度に向けて一緒に考えたいと思っています。
そしてより身近なボランティア活動の展開を発信していきます。
今年もよろしく申し上げます。

ボランティア交流会

トークショーとボランティア交流

日時 3月12日(水)13時~15時

場所 ゆうゆうセンター4階 多目的ホール

第1部 「三味線ライブ&トーク(笑)ショー」

(手話通訳・要約筆記有)



いながまあかを
稲垣亜香音さん

(交野市在住)

三味線と津軽三味線

津軽民謡メドレー

津軽三味線曲弾き

etc

第2部 ボランティア活動との出会い

ボランティア連絡会 10グループの

活動体験と交流で新たな発見につなげよう

登録ボランティアのみなさまへ

ボランティアグループに所属している人は、グループリーダーへ活動の継続・休会・退会のいずれかを連絡してください。確認後、必要がある人にはセンター事務所から問い合わせをする場合があります。登録内容に変更がある場合は、センター事務所に申請書を提出してください。

個人で登録した

ボランティアの人は

センター事務所から、活動確認を行いますので、2月14日(金)までに返送をお願いします。
「なかま」の配布活動をしている人には活動確認を行いませんので、休会や登録抹消の意向がある方はその旨をセンター事務所へ連絡してください。

ボランティア活動保険

ボランティアセンターへの依頼に対し、ボランティア活動をする時確認を

～新たなボランティアの確保に向けて～ 敷居を低く、入口を多く、誰もが楽しく

12月23日、大阪府市町村ボランティア連絡会のテーマ別研修会に参加しました。あそびの工房もくもく屋の自称割烹着姿の講師・田川雅規氏(右イラスト)の講演は、新たなボランティアの担い手を確保する前にボランティア自身の「活動スタイル」を見つめてみようとの呼びかけから始まりました。



あなたはベテランのボランティアですか？ あれもこれもと役職を担ったり、いろんなことに首を突っ込んでいませんか？ 強張った表情をしたり、忙しくしていませんか、そんな姿人は見ているのです。するとボランティアって大変なんだ、自分には到底できないという印象を相手に与えますし、ボランティアのハードルを自分自身が高くしていることがあります。

まずは頑張りすぎない、弱みを隠さず助けられ上手、頼り上手になることが肝要で、ボランティアを難しく見せない、楽しく活動しているイメージを与える工夫が大切でしょう。

ちょっとしたことができれば、なにか得意なことがあれば、それをキッカケにして、それなら僕にも私にもできるという気持ちを持って貰えることが第一歩でしょう。そして「敷居を低く、入口を多く、誰もが楽しく」がキーワードと感じました。

連絡会からのお知らせ

(1) 会計研修会

日時 令和7年2月25日(火)11時~

場所 ボランティアセンター2階

参加者 各グループのリーダーと新旧会計担当

(2) ボランティア交流会

(1頁をご覧ください)

(3) 「なかま」の配付について

「なかま」の配付にご協力をいただきありがとうございます。

「なかま」の配付者の減少や配付先等について、現状通りでは難しくなっています。

そこで次年度からの配付体制について検討を進めています。現在ご協力頂いております方で、今後の配付が難しいとお考えの方は2月14日までにVセンター事務所に申し出てください。



▼昨年ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の長年の活動が評価された。唯

一、の被爆国である日本が核禁止条約への参加に関して、新たな動きを見せるのか注目したい。▼またウクライナや中東での戦争を巡る緊迫した国際情勢の中で「核のタブー」に警鐘を鳴らした意義は大きい。▼そして被爆者の思いが世界へ、とりわけ若い世代へ広がることを願いたいものだ。

なかま次号発行予定
令和7年4月7日(月)

第33回健康福祉フェスティバル

ご協力ありがとうございました

好天に恵まれ多くの来場者で賑わい楽しい一日となりました。
館内では社協スペースに各ボランティアグループの活動パネルを展示し、ご来場の方々にボランティア活動の一端をPRすることができました。また「糸ぐるま」の介護衣料作品の展示、「虹の会」の点字体験、「あい」の対面読書や紙芝居などが実施できました。

ふれあい広場では、バザーと植木市の2ブースを出店し、出品いただきました品物の殆どをお買い上げいただきました。品物をご提供くださいました皆様に厚くお礼申し上げます。
ふれあい広場での収益金は、ボランティアグループ連絡会の活動費に充当させていただきます。



ふれあい広場連絡会ブース前の人だかり



植木や草花の展示準備中です



点字体験コーナー(虹の会)



盛況!! 連絡会バザーのブース



紙芝居を見て頂きました(あい)

3市合同要約筆記講座を開催 難聴者と一緒に体験交流

10月23日、2024年度3市(枚方市・寝屋川市・交野市)担当)合同要約筆記体験講座を交野市ゆうゆうセンターで開催しました。

講座の目的は、聞こえないこととは、聴覚障がい者のこと。ツールとしての要約筆記、コミュニケーションの方法などについて理解を深めることで、要約筆記の啓発・普及に努めることです。
難聴者の方々に対談形式で、失聴になったのはいつ、困ったことは、補聴器について、人工内耳

のこと、要約筆記についてなど、いろんな話してもらいました。そして実際にロール紙に書く、ノートテイクなどの体験を積んでいただきました。
聞こえない障がいは他人には見えません。他にもいろいろな障がいを持った人たちへの配慮やコミュニケーションの方法を学んでいただける機会を提供できたと幸いですし、講座を担当させていただきましたことに感謝しています。

要約筆記「星の会」

大阪府知事表彰(個人) おめでとうございます



井上 昭代さん
(在宅訪問:陽だまり)
令和6年度大阪府社会福祉ボランティア知事表彰を受賞されました。
長きにわたり、社会福祉活動にご尽力いただきありがとうございます。

郡津小学校でアイマスク体験

しっかり声かけ やさしく誘導

朗読グループ「あい」

11月15日、郡津小学校4年生3クラスで行いました。アイマスクをつけた児童を誘導する際は、段差や階段でしっかり声をかけ、ゆっくり歩き、上手にできました。はじめはアイマスクをして歩くことを怖がっていた児童たちも、徐々に安心して歩けるようになったようです。またアイマスクをして話を聞く体験では、集中して聞けた、心の中でイメージを膨らませることができた

**朗読グループ「あい」
30周年記念行事**

日時 1月16日(木)
13時30分~15時30分

場所 ゆうゆうセンター4階
多目的ホール

内容 尺八(安田知博)とピアノ(石田綾)のデュオコンサート

などの感想が聞かれました。校区福祉委員やふくしボランティアなど大勢の方の見守りがあり、安心して行うことができました。生活の中でこの体験が役立つと嬉し

私市小学校で点字の体験学習

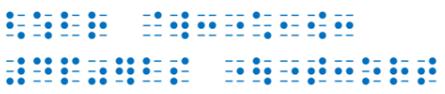
児童たちが校歌の点訳に挑戦!!

11月15日、私市小学校4年生3クラスの児童たちと点字の体験学習を行いました。昨年に続く体験になりますので、ことしは簡単なおさらいの後は点字を打つ(書く)ことを重点においた時間配分としました。

はじめは点字版に少し戸惑っていた児童たちも、直ぐにスムーズな手の運びで点字を打ち出しました。例題の点字を打ち終えたあとは「校歌」に挑戦です。時間内に校歌を3番まで全部できた児童は少数でしたが、多くの児童が楽しくできたとの感想を述べてくれました。



私市小学校4年生の児童たちと



点訳「虹の会」

「キッズハロウィン」 手話歌で交流

10月27日、かたのにぎわいフェスタがいきいきランド交野で開催され、「キッズハロウィン」に手話歌で参加しました。これまでの「さつき」のボランティア活動は、依頼を受けて行うことが中心でした。しかし、今回は手話をより多くの人に知ってもらうために、自分たちから発信する初めての試みとなりました。

会場に手話歌「さんば」の音楽が流れると多くの人が集まってくれました。歌詞に出てくる言葉の手話や表現方法を説明した後、会場のみなさんと一緒に手話歌を楽しみ、大いに盛り上がりました。
その後、手話歌に興味があると話しかけてくださる方や、手話を学びたいという声をいただき、改めて手話普及活動の重要性を実感しました。

2週間後に4年生全員が手書きの感想文を寄せてくれました。その一部を紹介します。点字を打つ時の「プツプツ」という音が気持ちいい、点字でアルファベットが打てるのはすごい、目の不自由な人は大変な苦勞しているのを知り「偉いと思ったし」何かをしたい。そして多くの児童が来年も点字を習いたいと・・・
12月20日、6年生(2クラス)は初めての体験学習ですが、4年生とはほぼ同様の内容で実施しました。

点字カレンダーを進呈します
ボランティアグループ点訳「虹の会」が令和7年度点字カレンダー(壁掛け用・卓上型)を作成しました。
希望者に無料で進呈します。
ボランティアセンターまでお問い合わせください。
電話 072-894-3737
Fax 072-891-3340